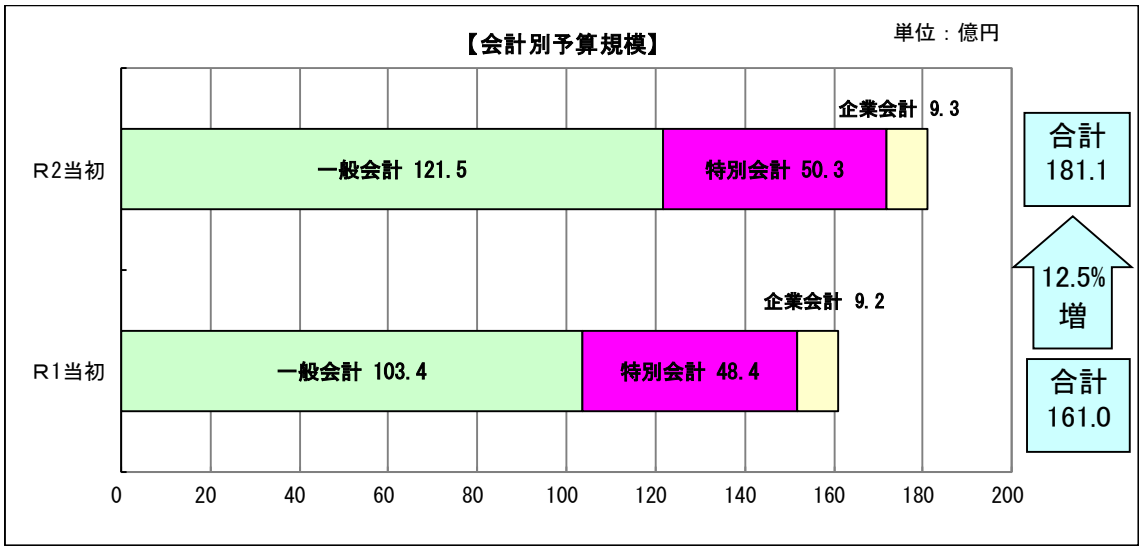
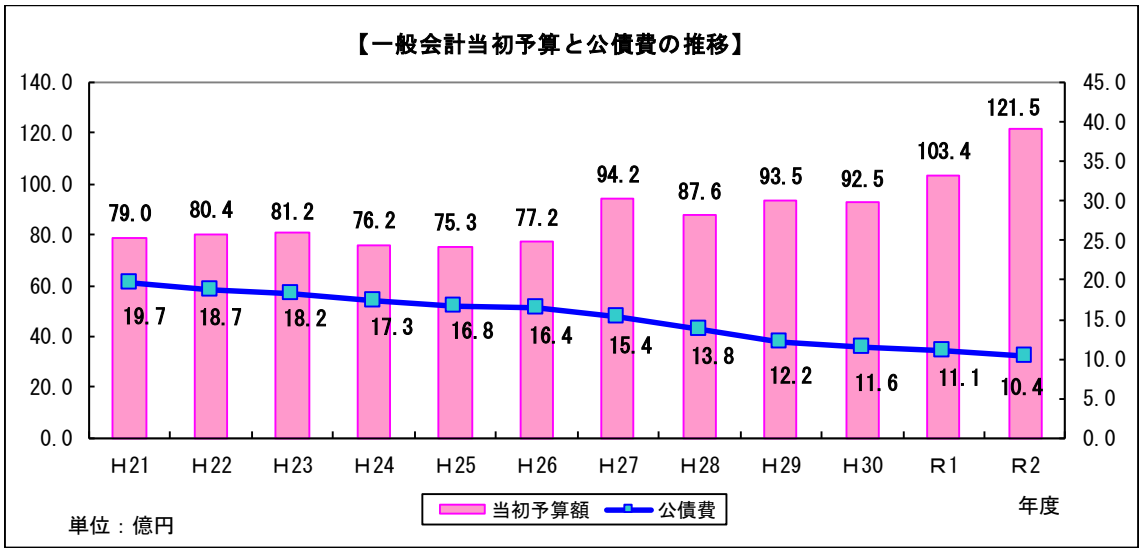
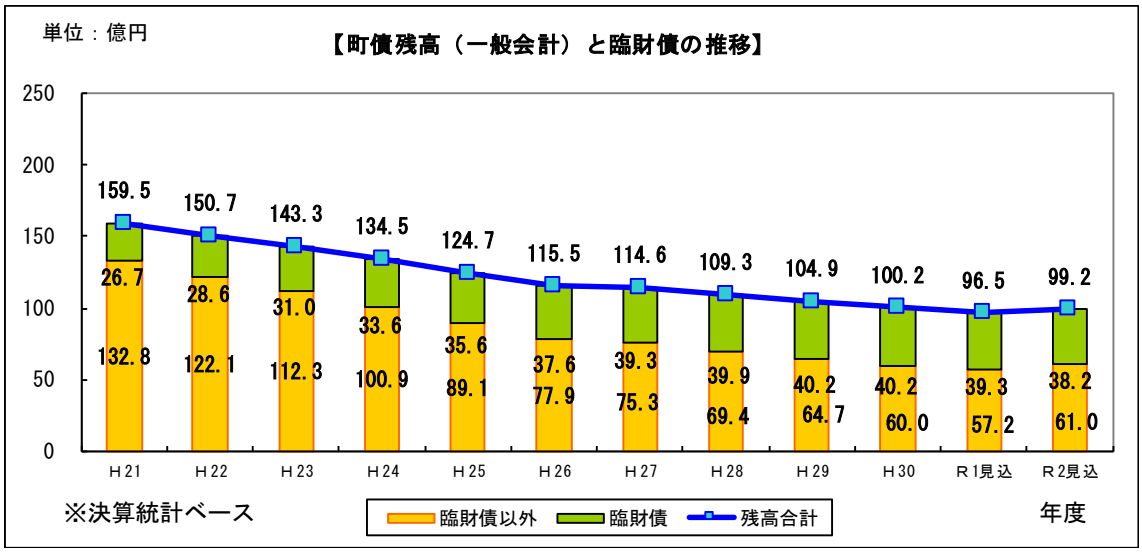
令和２年度
当初予算の概要（資料編）

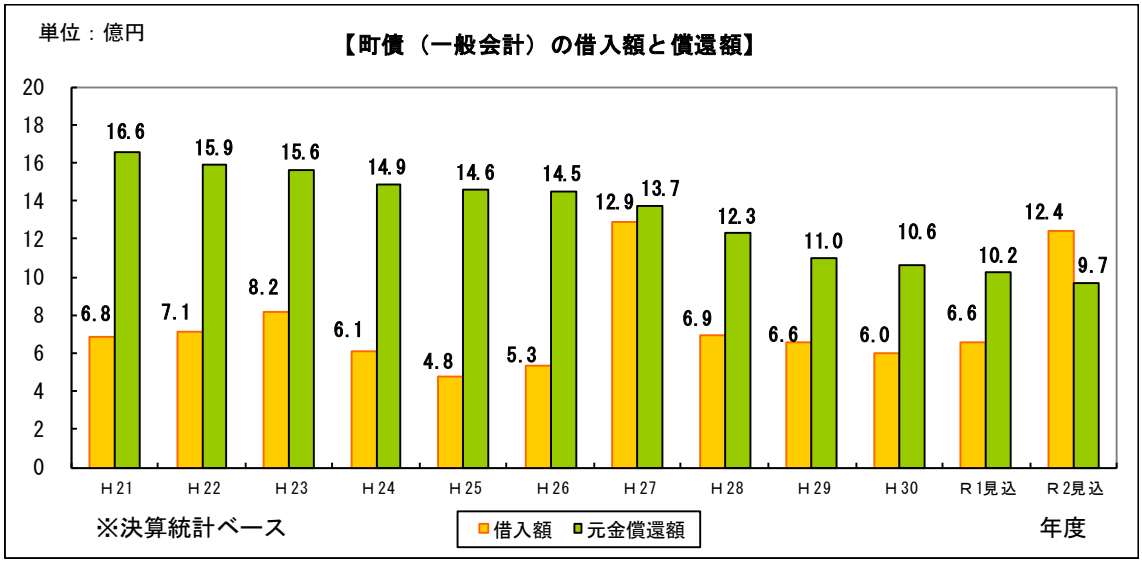
当別町企画部財政課

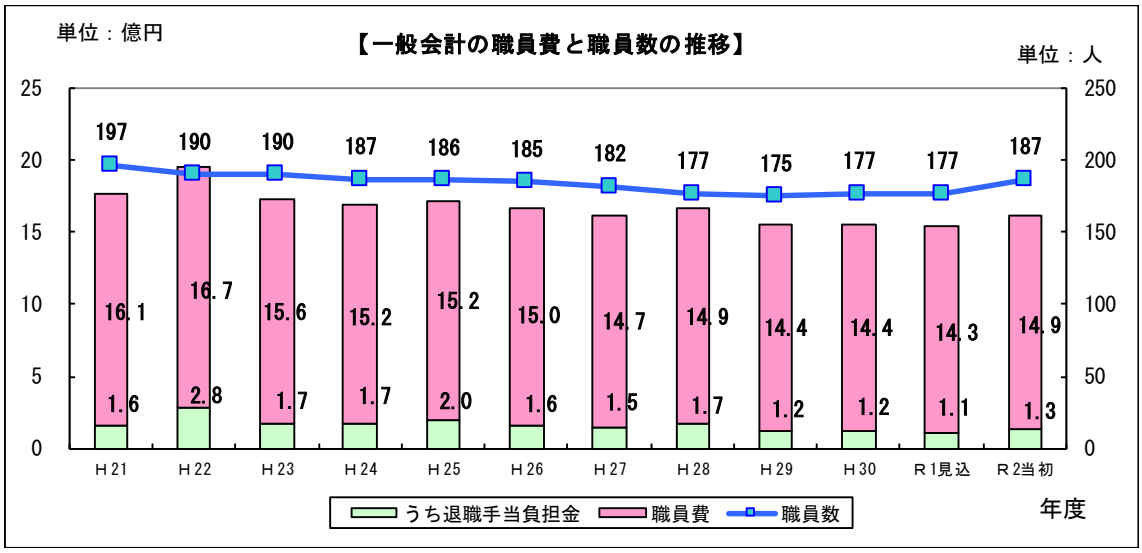
■　令和２年度　一般会計当初予算の全体像








単位：億円
【町債（一般会計）の借入額と償還額】
20
18
16
14
12
10
8
6
4
2
0
16.6
15.9
15.6
14.9
14.6
14.5
13.7
12.9
12.3
11.0
10.6
10.2
12.4
9.7
6.8
7.1
8.2
6.1
4.8
5.3
6.9
6.6
6.0
6.6
H21
H22
H23
H24
H25
H26
H27
H28
H29
H30
R1見込
R2見込
※決算統計ベース
借入額
元金償還額
年度


単位：億円
【一般会計の職員費と職員数の推移】
単位：人
25
20
15
10
5
0
250
200
150
100
50
0
197
190
190
187
186
185
182
177
175
177
177
187
16.1
16.7
15.6
15.2
15.2
15.0
14.7
14.9
14.4
14.4
14.3
14.9
1.6
2.8
1.7
1.7
2.0
1.6
1.5
1.7
1.2
1.2
1.1
1.3
H21
H22
H23
H24
H25
H26
H27
H28
H29
H30
R1見込
R2当初
うち退職手当負担金
職員費
職員数
年度

性質別経費の状況（一般会計）

（単位：千円・%）

性質別名称	令和2年度		令和元年度		比較	
	総額	構成比	総額	構成比	増減額	増減率
消費的経費 (A)	7,894,193	65.0	7,626,395	73.8	267,798	3.5
義務的経費	3,602,994	29.7	3,603,729	34.9	▲ 735	▲ 0.0
人件費	1,718,312	14.2	1,691,432	16.4	26,880	1.6
扶助費	840,922	6.9	807,036	7.8	33,886	4.2
公債費	1,043,760	8.6	1,105,261	10.7	▲ 61,501	▲ 5.6
その他	4,291,199	35.3	4,022,666	38.9	268,533	6.7
物件費	1,335,929	11.0	1,218,703	11.8	117,226	9.6
維持補修費	526,268	4.3	495,185	4.8	31,083	6.3
補助費等	2,429,002	20.0	2,308,778	22.3	120,224	5.2
その他経費 (B)	2,448,138	20.2	2,078,669	20.1	369,469	17.8
積立金	1,308,371	10.8	980,564	9.5	327,807	33.4
投資及び出資金	23,676	0.2	0	0.0	23,676	皆増
繰出金	1,116,091	9.2	1,098,105	10.6	17,986	1.6
貸付金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
投資的経費 (C)	1,801,107	14.8	630,143	6.1	1,170,964	185.8
普通建設事業費	1,801,107	14.8	630,143	6.1	1,170,964	185.8
補助事業	1,194,315	9.8	209,315	2.0	985,000	470.6
単独事業	566,556	4.7	401,442	3.9	165,114	41.1
道営事業	21,662	0.2	9,500	0.1	12,162	128.0
受託事業	18,574	0.1	9,886	0.1	8,688	87.9
災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
予備費 (D)	5,000	0.0	5,000	0.0	0	0.0
合計(A)+(B)+(C)+(D)	12,148,438	100.0	10,340,207	100.0	1,808,231	17.5

令和 2 年度　当初予算における主な事業【部署別】

※（　　千円）は、前年度当初予算額

【 総 務 課 】

○防災マップ等作成･更新事業 （新規）

事業費： 5,000 千円（ 0 千円）

災害から身を守るための災害時の行動や防災知識を冊子にした「防災マップ」を最新情報に改訂し、内容の充実を図る。

【 150 年記念事業室 】

○当別町150年記念事業 （新規）

事業費： 30,000 千円（ 0 千円）

明治４年に仙台藩岩出山領主、伊達邦直公が入植してから１５０年の節目を迎え、この節目の年に先人の偉業やこれまで積み重ねてきた歴史を振り返り感謝すると共に、この先５０年、１００年と続く未来へ繋げるために、町民と一体となって「当別町１５０年」を盛り上げる事業を実施するため、当別町１５０年記念事業実行委員会に補助金を支出する。

実行委員会、当別町が中心となり、１０月１０日、１１日に開催する、記念式典、記念イベントを軸として、４月に「NHK のど自慢」の公開生放送、８月に花火大会の共催など、関係機関との連携・協力を得ながら実施する。

【 企 画 課 】

○北海道医療大学連携推進プロジェクト事業 （継続）

事業費： 2,993 千円（ 2,977 千円）

北海道医療大学と当別町との包括連携を推進し、新生活応援事業など医療大学生の町内居住を促進するプロジェクトを協働で行うための負担金を支出する。

○小中高校生トップアスリート育成事業 （継続）

事業費： 1,000 千円（ 0千円）

町内在住の小中高校生及び指導者を対象に、全道大会出場レベルでの活躍が見込まれる青少年を夏及び冬休みの一定期間日本体育大学へ派遣し、高度なトレーニング設備のもと、講義（技術・心理・栄養等）や部活動（実技）に参加するなど優秀な指導者や選手からの指導を受け、スポーツアスリートの育成を図る。

○当別町コミュニティバス運行事業　（継続）

事業費：　24,656 千円（ 25,489 千円）

「当別町コミュニティバス(当別ふれあいバス)」の運行主体である当別町地域公共交通活性化協議会に対し負担金を支出し、官民共同によるコミュニティバスの運行を継続する。

○月形当別線バス運行事業補助金　（新規）

事業費：　26,089 千円（ 0 千円）

札沼線（北海道医療大学駅-新十津川駅間）の廃止に伴い、代替交通として令和２年４月１日から石狩当別駅-石狩月形駅間を運行するバス事業に対して、月形町とともにバス運行に係る経費の補助を行う。

○当別町観光協会補助金　（継続）

事業費：　6,205 千円（ 4,705 千円）

町の観光振興を推進するため、当別町観光協会への支援を継続するとともに、観光拠点である「北欧の風 道の駅とうべつ」から町内全域への周遊観光を促進するため、観光資源を発掘・整理し新たな観光パンフレットを作製することで、観光客誘致の促進と交流人口の拡大を図る。

また、北海道日本ハムファイターズによる「北海道 179 市町村応援大使事業」を活用し、町のＰＲを行う。

【 まち再生室 】

○新庁舎構想調査事業　（新規）

事業費：　3,000 千円（ 0 千円）

役場庁舎は、築４９年と老朽化が進んでおり、昨今の自然災害等の発生状況を鑑み、耐震性の確保はもとより、非常時の行政運営に備えるためにも、早期の更新が求められている。また、更新にあたっては、市街地を活性化し賑わい創出につなげることが重要であり、建設場所と併せて機能の複合化や交流空間の創出などについて検討を行う。

○大規模盛土造成地調査事業　（新規）

事業費：　6,000 千円（ 0 千円）

近年、地震により、盛土した宅地造成地において崩落等の被害が発生しており対策が急務となっている。北海道開発局により道内における大規模盛土宅地造成地調査が実施され、町内 11 箇所が該当箇所として抽出されたことを受け、これらの箇所について安全性の調査を実施する。

【 財 政 課 】

○対雁会館耐震改修事業 （新規）

事業費： 10,000 千円（ 0 千円）

大規模な地震に対応するため、外壁等の耐震補強の改修により耐震性を向上し、施設の安全性を確保する。

【 道の駅室 】

○当別町地域間交流拠点施設(道の駅)指定管理事業 （継続）

事業費： 38,209 千円（ 42,659 千円）

「北欧の風 道の駅とうべつ」の管理運営について、指定管理者制度を継続する。

【保健福祉課】

○乳幼児等医療費助成事業 （継続）

事業費： 18,038 千円（ 11,900 千円）

通院医療費の助成対象を小学校就学前から小学校卒業までに拡大、入院医療費の助成はこれまでに引き続き高校卒業まで実施し、子どもの健康の保持増進と子育て世代の経済的負担の軽減を図る。

【 介 護 課 】

○地域生活サポーター活動支援事業 （継続） ※介護保険特別会計

事業費： 1,825 千円（ 1,805 千円）

公的サービスに該当しない外出や家事支援を必要とする高齢者に対し、有償ボランティア（地域生活サポーター）によるサポートを実施する。活動を行う有償ボランティアに対しては、活動支援ポイントを付与し、貯まったポイントは商工会発行の商品券として還元し活動を支援するとともに、地域生活サポーターを含む有償ボランティアの養成講座を実施する。

○買物支援事業 （継続） ※介護保険特別会計

事業費： 1,973 千円（ 1,859 千円）

買物に困難を抱え閉じこもりがちな高齢者に対し、有償ボランティア（買物御用聞きサポーター）による買物の御用聞きを通じて高齢者の見守り活動、買物支援を行う。活動を行う有償ボランティアに対しては、活動支援ポイントを付与し、貯まったポイントは商工会発行の商品券として還元し活動を支援するとともに、商品の配達を町内の協力商店により行う。

【 農 務 課 】

○担い手確保推進事業 （新規）

事業費： 6,388 千円（ 0 千円）

当別町農業総合支援センターを通じて、新規就農者への研修・就農段階の支援を行い、担い手の育成を図るとともに、担い手対策として、農外参入者を確保するため、新規就農フェアに出展する。

○人・農地プラン策定事業 （新規）

事業費： 2,893 千円（ 0 千円）

地域の徹底した話合いによる担い手への農地集積・集約化を加速化させるために、農地集積の将来方針となる実質化した人・農地プランを策定する。

○輪作体系確立支援事業 （継続）

事業費： 2,970 千円（ 0 千円）

農業産出額の向上を目指し、多収量高品質な農産物の生産を図るため、適正な輪作体系の構築に必要な機械整備に対して支援する。

○農業用ため池ハザードマップ作成事業 （新規）

事業費： 50,000 千円（ 0 千円）

災害発生時に周辺住民が迅速・的確な避難を行うことにより被害の低減を図ることを目的として、特定農業用ため池のハザードマップを作成し、地域の防災意識の向上を図る。

【 エネルギー推進室 】

○西当別小・中学校木質バイオマスボイラ導入事業 （継続）

事業費： 171,986 千円（ 17,600 千円）

ボイラ設備の老朽化が著しい西当別小学校及び中学校に木質チップボイラを導入し、学校施設の機能向上を図るとともに、エネルギーの地産地消の推進及び再生可能エネルギーによる CO2 削減を図る。

○道営森林管理道「曽根の沢線」開設事業負担金 （継続）

事業費： 14,000 千円（ 7,000 千円）

間伐適齢期を迎えた森林の整備を進め、持続的な間伐材の販売を促進し、未整備森林の解消による山地保全の安定化を図るため、道営事業により林道を開設する。

○森林リモートセンシング技術構築事業　（新規）

事業費：　1,500 千円（　0 千円）

ドローン等を活用した航空写真から画像解析を行い、安全かつ短時間の森林整備事業に係る測量体系を構築する。

○高性能林業機械導入促進事業　（新規）

事業費：　6,864 千円（　0 千円）

町内林業事業体が実施する高性能林業機械の導入に対し補助を行い、町内での森林整備事業の促進を図る。

○民有林管理事業　（新規）

事業費：　5,000 千円（　0 千円）

町有林と私有林を同時に管理し、森林整備により発生する丸太の一括売り払いによる収益増の検討や、異常気象時の林道及び山地災害等の点検を行うなど、町全体の森林管理を一体的に実施する。

【 商 工 課 】

○企業立地促進事業　（継続）

事業費：　800 千円（　2,600 千円）

地域経済に高い波及効果をもたらす企業誘致を実現させるため、道内外企業への個別訪問及び首都圏等での企業誘致フォーラムへの出展など、ＪＡ・商工会とも連携し誘致活動を促進する。

○創業支援資金元金補給事業　（新規）

事業費：　3,000 千円（　0千円）

町内での創業意欲を後押しするために、当別町中小企業特別融資規則を一部改正し、融資に伴う信用保証料及び利子の一部補助に加え、創業者に対する元金補給を新たに実施する。

【 建 設 課 】

○道路照明施設更新事業　（継続）

事業費：　20,000 千円（　20,000 千円）

点検調査に基づき、照明灯具を LED へすることにより、長寿命化およびライフサイクルコストの縮減を図る。

○町道除排雪事業　（継続）

事業費：　375,000 千円（ 345,000 千円）

冬期間において、快適な町民生活及び産業・経済活動を確保するため、除排雪業務を行う。

また、当別町除排雪連絡協議会、除排雪業者と連携を図りながら、効率、効果的な排雪作業を図る。

○除雪機械(除雪ドーザ)更新事業　（新規）

事業費：　32,400 千円（ 0 千円）

町有車両の老朽化等により、除雪体制の維持が困難な状況が生じていることから、適切な保有台数を確保し委託業者に貸与することで、除排雪車両体制の強化を図る。

○町道中央十九線防雪柵設置事業　（継続）

事業費：　73,000 千円（ 40,000 千円）

冬期間の吹雪による視界不良や吹き溜まりによる車両の立ち往生が多発していることから、防雪柵の設置により安全な通行を確保する。

○町道中小屋線道路改良事業　（継続）

事業費：　27,000 千円（ 20,000 千円）

当該路線は一部区間が砂利道路で傾斜があるため、大雨時にわだち掘れが発生し通行止めを行っている状況であることから、道路改良工事を行い安全な通行を確保する。

○阿蘇公園施設更新事業(公園施設長寿命化事業)（新規）

事業費：　9,000 千円（ 0 千円）

公園施設の老朽化が著しいことから公園施設長寿命化計画に基づき阿蘇公園施設更新設計を行い、公園施設の充実を図る。

○パンケチュウベシナイ川河川改修事業　（新規）

事業費：　150,000 千円（ 0 千円）

当該河川は上流部において未改修であるため、大雨時に車庫や耕作地が浸水する被害が発生している状況であることから、河川改修工事を実施し、被害発生の防止を図る。

○パンケチュウベシナイ川河川浚渫事業　（新規）

事業費：　16,000 千円（ 0 千円）

護岸整備区間において、河床に土砂が堆積し河川の流加能力が低下しており、集中豪雨時には河川が溢水し浸水する恐れがあることから、土砂を除去し機能回復を図る。

○橋梁長寿命化修繕事業　（継続）

事業費：　158,300 千円（ 5,000 千円）

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化が著しく、早期に措置を講ずる必要のある１９線橋の長寿命化修繕工事を実施し、施設の延命化を図り、安心・安全な道路環境を確保する。

○東町団地改修事業(公営住宅長寿命化事業）（継続）

事業費：　20,877 千円（ 19,203 千円）

町営住宅長寿命化計画に基づき東町団地改修工事を行い、住環境の改善と町営住宅の運営の健全化を図る。

○子育て世帯向け公営住宅整備事業　（新規）

事業費：　70,635 千円（ 0 千円）

子育て世帯の移住・定住を図るため、子育て世帯向け公営住宅の整備（下川教員住宅 1 棟8戸の改修）を行う。

【 教育委員会 学校教育課 】

○小中一貫教育推進事業　（継続）

事業費：　11,816 千円（ 9,623 千円）

児童生徒の学びの連続性を確保するため、「一貫教育推進講師（非常勤）」（英語２名、算数（数学）２ 名）を各中学校区に配置し、小学校及び中学校での教科指導を実践し、学力の向上を図る。

また、小学校高学年の中学校登校、中学校教員の小学校への乗り入れ授業や、日本体育大学と連携した教職員研修等、児童生徒・教職員の交流の促進や教職員の資質向上に向けた取組を行う。

○コミュニティ･スクール運営事業　（継続）

事業費：　792 千円（ 644 千円）

小中一貫教育を地域全体で進めるため、学校・保護者・地域住民等で構成する「学校運営協議会」（コミュニティ・スクール）による「地域とともにある学校」づくりを推進する。

○小中学校芸術鑑賞事業　（継続）

事業費：　500 千円（ 500 千円）

児童生徒の豊かな感性と創造性・思考力・コミュニケーション能力等の育成を図るため、小中学校が合同で芸術鑑賞を行う。

○西当別中学校校舎屋上防水工事　（新規）

事業費：　13,576 千円（　0 千円）

教育環境改善のため、老朽化している西当別中学校校舎の屋上防水工事を行う。

○当別町一体型義務教育学校建設事業　（新規）

事業費：　860,128 千円（　0 千円）

１年生から９年生までが一同に集い、「知・徳・体」を備えた世界に通用する人材を目指し、学習や部活動などの教育活動を展開する新たな義務教育のスタイルを実現するための校舎を建設する。

【 教育委員会 社会教育課 】

○ふくろう図書館内部改修事業　（新規）

事業費：　4,290 千円（　0 千円）

図書館機能と利用者サービスの向上を目的として、開架図書スペース、閲覧スペースを拡大するための改修を行う。

【 教育委員会 子ども未来課 】

○多子世帯の保育料軽減支援事業　（継続）

事業費：　7,193 千円（　5,699 千円）

平成２９年度から実施している保育施設を利用する３歳未満の第２子に係る保育料無償化事業を継続し、更に第１子カウントの年齢制限を撤廃して第２子の保育料無償化の範囲を拡大し、子育て世帯の経済的負担の軽減及び子どもを産み育てやすい環境の充実を図る。

○保育士等就労支援事業　（新規）

事業費：　2,685 千円（　0 千円）

町内認定こども園における保育士等の確保策として、保育業務に従事している職員（常勤保育士等）に対し、勤務３年ごとに一時金（１０万円、町内居住者には２万円加算）を直接支給する事により保育士等の継続雇用と町内居住の促進を図る。

【 当別消防署（負担金） 】

○小型動力ポンプ付積載車購入事業　（継続）

事業費：　24,000 千円（　20,000 千円）

当別消防団の小型動力ポンプ付積載車２台の更新を図り、各種災害等における住民需要に対し安全に対応することができる体制を維持する。

○当別消防庁舎大規模改修事業（新規）

事業費： 8,073 千円（ 0 千円）

消防庁舎建築から 20 年以上が経過し、各設備の故障や一部建物の劣化が著しいことから、災害発生時における防災拠点施設としての機能維持を図るため改修工事を行う。

☆令和元年度当初予算計上　終了･廃止等の主な事業

● 当別町総合計画策定業務	529 千円
● 当別町・新篠津村特別区連携プロジェクト事業	2,000 千円
● 百年会館耐震改修事業	10,000 千円
● 当別町道の駅プロモーション事業	6,000 千円
● 道の駅附帯施設整備事業	40,680 千円
● 産地パワーアップ事業（新規）	141,980 千円
● 魅力ある直売所づくり支援事業	1,304 千円
● 町道高岡中央線歩道新設事業	27,000 千円
● 町道川下右岸線道路改良事業	30,000 千円
● 町道北八号線道路改良事業	35,000 千円

☆令和元年度予算 繰越事業

● 基幹行政システムデータ移行事業	15,502 千円
● 西当別小・中学校木質バイオマスボイラ導入事業	25,596 千円
● 健康管理システム改修事業	1,158 千円
● 担い手確保・経営強化支援事業	11,708 千円
● 分収造林地整備事業	8,800 千円